

## 良さを伸ばすことが、キャリア！

小中合同運動会いかがでしたか？ 本当にお疲れ様でした。練習の時から準備・練習・本番と力を合わせてみんなで頑張ったと思います。

さて、小中合同運動会では、皆さんは様々な立場や役割を経験しました。団長、ダンスリーダー、それぞれの係といった役職だけでなく、「小学生の先輩としての中学生」「新入生の先輩としての2、3年生」というリーダーの立場、さらにはクラスの仲間と協力し、一方では競い合う立場、1年生はつい数ヶ月前までは「先輩」として見ていた中学生になって、小学生を励まし、まとめ、引っ張る立場になりました。そこで、小中合同運動会を通して学んだことを振り返って、今後の学校生活やその先にも生かしていきましょう。結団式から練習、準備、本番、後片付けまでの自分の姿を見つめ直して考えましょう。

様々な立場や役割を果たす中で学ぶことや知ることは沢山あります。苦手だと思っていたことも、仲間のアドバイスでできるようになったことや、逆に初めて取り組んでみて難しさを感じることもあったでしょう。しかし、それもやってみないと分からなかったことで、新しい学びです。一緒に過ごしてきた仲間の意外な一面を見ることも多かったことでしょう。「教え方が上手い」「何でも一生懸命に取り組んでいるな」、そういういい面に気づくことも皆さんの良さを伸ばすことにつながります。

そして、それら全てが実は「キャリア」なのです。運動会が終わって次の5つについて「キャリアパスポート」に学んだことや考えたことを整理しましょう。

- 1 自分が努力したこと、団のために貢献できたと思うことはどんなことでしたか。
- 2 自分の心に一番残ったことはどんなことでしたか。
- 3 様々な取り組みを通して頑張ったクラスや団の仲間を紹介しましょう。
- 4 自分が後輩のよい手本となれたと思えることはどんなことですか。また、後輩の姿からどんなことを学びましたか。
- 5 自分の反省点も含め、小中合同運動会を終えての感想を書きましょう。

勝利・絆・成長・笑顔などを目標としたときに、その結果が肯定的な場合と否定的な場合では、気持ちの面で大きく異なります。では、私たちの価値は大きく異なるのでしょうか。その時々の自己評価は変わるとしても、周囲も含めて、その人自身の価値は変わらず尊いものだということは忘れないようにしましょう。発明王エジソンは言いました。「私たちの最大の弱点は諦めることにある。成功するのに最も確実な方法は、常にもう一回だけ試してみることだ。」では、どのような状況の時諦めてしまうのでしょうか。人の言動に影響されたり、人と比較したりして諦めることは多くないでしょうか。「恥ずかしい。隠れてしまいたい。逃げ出したい」とうつむいてしまいます。人に影響されず、顔を上げて自分の意思を持つ人は自律できています。何度も失敗しても、私たちの価値を信じて、「もう一回だけ」と自分を励まして希望に向かう道を選びましょう。

「反省」とはダメなところを探すことではなく、希望と決意を新たにする「自己肯定」の一歩です。

## 「体験入学や奨学金の申し込み」についてのお願い。

各高等学校等から「体験入学」や「学校説明会」「入試説明会」の案内が来ています。

案内は3年生教室の前や、2階の階段を上がったところの掲示板に貼るようにしています。

参加希望は、その都度担任の先生と進路担当(一美)までお知らせください。また、進路コーナーの資料も活用して、借りたい資料があれば届けてください。自分の良さや個性を見つめて、広く関心を持つことで、学習意欲も向上すると思います。

